

プロクレアホールディングス

Procrea Digest

プロクレア
ダイジェスト

2023年3月期ミニディスクロージャー誌

(2022年4月1日~2023年3月31日)





挑む。超える。ともに創る。

プロクレアホールディングス

プロフィール (2023年3月31日現在)

商号 株式会社プロクレアホールディングス
(英文名称: Procrea Holdings, Inc.)

設立日 2022年4月1日

本店所在地 青森県青森市勝田一丁目3番1号

主な本社機能 青森県青森市橋本一丁目9番30号

事業内容 ・銀行および銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務
・その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務

資本金 200億円

営業店舗数 189

※支店内支店(1つの店舗内で複数の支店が営業する拠点)、ローン専門拠点を含む。

決算期 3月31日

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
(証券コード:7384)

Contents

ごあいさつ	1
プロクレアホールディングスの概要	2
第1次中期経営計画基本戦略	3
サステナビリティ方針とSXへの取り組み	4
サステナビリティに関する取り組み	5~6
業績ハイライト(2行合算)	7~8
連結財務諸表	9
株式情報	10

ごあいさつ



取締役社長 成田 晋

皆さまには日頃より格別なお引き立てを賜り、まことにありがとうございます。また、昨夏の大雨災害や度重なる鳥インフルエンザにより影響を受けておられる皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

「2023年3月期ミニディスクロージャー誌 プロクレアダイジェスト」をお届けいたします。どうかご一読いただき、私どもプロクレアグループへのご理解を一層深めていただければ幸いです。

2022年度の青森県経済は、新型コロナ感染症が拡大と収束の動きを繰り返す中、ウクライナ情勢等を背景とした原油・原材料価格の高騰、円安や物価上昇などにより、幅広い分野が影響を受けました。

一方で、コロナ対策の緩和に伴い、ねぶた祭を始め県内各地の多くのイベントが3年ぶりに開催される等、感染抑制と経済活動の両立に向けた動きが進みました。特に個人消費が回復傾向にあり、物価高騰の影響を受けつつも、総体としては持ち直しの動きが続いております。

プロクレアホールディングスが誕生して1年が過ぎました。

その間も地域金融機関を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化等社会構造の変化に加え、銀行業界における規制緩和の進展、また気候変動対応をはじめとするサステナビリティに対する意識の急速な高まり等、不確実性を一層増しております。

私たちのブランドコンセプトは「挑戦と創造」です。いかなる環境変化の中でも、地域の可能性への挑戦を続け、明るく豊かな未来の創造を目指していきたい。そのためには両行の持つノウハウや情報、ネットワークの融合により、統合によるシナジー効果を早期に実現し、強固な経営基盤を構築していくことが最優先課題であると認識しております。

また、安定的な金融サービスのご提供と地域経済の発展のため、金融仲介機能の更なる強化を図るとともに、地域資源の付加価値向上に向けた事業領域拡大への取り組みを具体化してまいります。

私たちプロクレアグループは2023年度、青森ねぶた祭へ初めて出陣させていただきます。「地域の未来を創る」「お客さまと歩み続ける」「一人ひとりの想いを実現する」という当グループ経営理念のもと、伝統行事の次世代への伝承を通じた地域活性化へも貢献してまいりたいと考えております。

引き続き、変わらぬご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

プロクレアホールディングスの概要

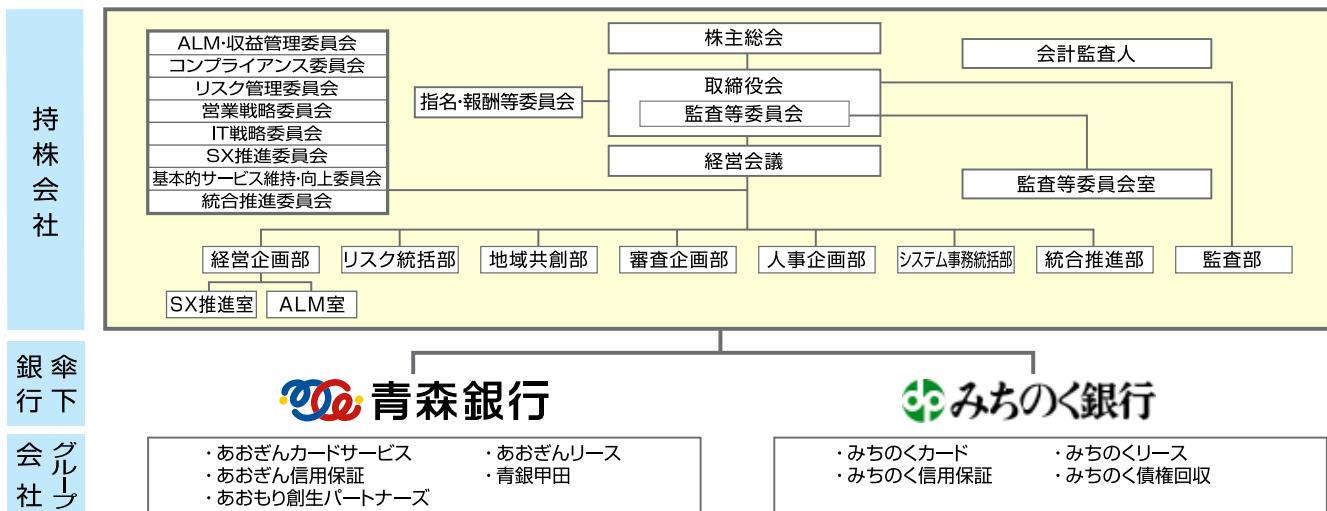
経営
理念

「地域の未来を創る」
「お客さまと歩み続ける」
「一人ひとりの想いを実現する」

理念に込めた想い

- ◆私たちは、健全性を堅持するとともに、地域の課題や可能性に積極的に挑戦することで、明るく豊かな未来を創ります。
- ◆私たちは、専門性を高めるとともに、期待を超えるサービスを追求することで、お客さまの信頼に応え、成長と発展に向けてともに歩み続けます。
- ◆私たちは、自主性を尊重するとともに、多様な個性を力に変えることで、自信と誇りに満ちたやりがいのある組織を築き、一人ひとりの溢れる想いを実現します。

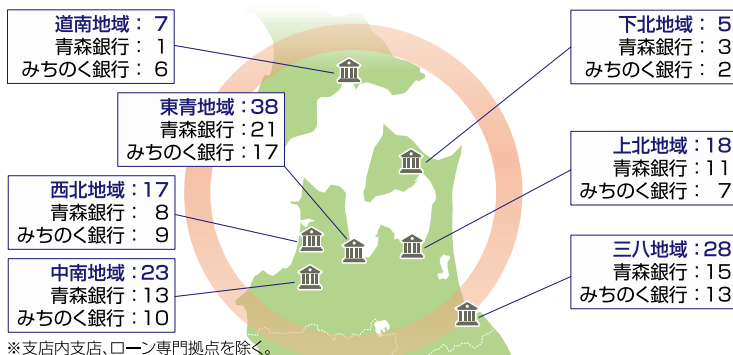
組織図



主要拠点

(2023年3月31日現在)

青森県内から道南地域にかけて強い基盤を有しております。



拠点数

(2023年3月31日現在)

都道県	青森銀行	みちのく銀行	両行計
青森県	71	58	129
東青地域	21	17	38
中北地域	13	10	23
三八地域	15	13	28
西北地域	8	9	17
上北地域	11	7	18
下北地域	3	2	5
北海道	2	7	9
岩手県	1	2	3
宮城県	1	1	2
秋田県	2	2	4
東京都	1	1	2
合計	78	71	149

第1次中期経営計画基本戦略

プロクレアホールディングス第1次中期経営計画

『挑戦と創造』

スローガン

シナジーを早期に実現し、強固な経営基盤を構築する

経営課題

金融サービスの
安定性と質の両立

地域産業の発展
地域住民の生活の向上

健全かつ持続的な
経営基盤の構築

基本戦略

基本戦略I

金融仲介機能の強化

- ① 伴走型コンサルティングの強化
- ② 金融サービス・ソリューションの強化
- ③ 専門性の多角化と深化
- ④ サービスのデジタル化

基本戦略II

事業領域の拡大

- ⑤ 地域共創・総合商社モデルの構築

基本戦略III

経営の合理化・効率化

- ⑥ インフラ等の効率化
- ⑦ 業務のデジタル化
- ⑧ 組織体制の効率化

基本戦略IV

グループ基盤の強化

- ⑨ 人材力の強化
- ⑩ 有価証券運用力の強化
- ⑪ リスク管理態勢の強化
- ⑫ ガバナンス体制の強化
- ⑬ その他サステナビリティ等の取り組み強化

サステナビリティ方針とSXへの取り組み

「サステナビリティ方針」

気候変動・脱炭素の問題をはじめ、健康や相対的貧困、ダイバーシティ&インクルージョン等、「サステナビリティ」への関心は高まる一方です。当方針は、そのような環境下、持続可能な社会の実現に向けたプロクレアホールディングスとしての今後の取り組みの方向性を内外に示すものとして位置付けております。

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」 彩り豊かな未来を、次の世代に

私たちは、愛する“ふるさと”を美しいまま次の世代に受け継いでいくため、彩り豊かな未来の創造に向けて挑戦してまいります。地域におけるあらゆる課題や無限の可能性と向き合い、環境、社会、ガバナンスの観点から持続可能な事業活動を通して皆さまとともに歩み続けます。

ステークホルダーとのお約束

自然・環境

環境保全と調和した地域経済の成長を目指し、気候変動や自然への影響を常に意識しながら事業活動に取り組んでまいります。

地域社会

自然資本・人的資本の価値が最大限発揮され、ますます魅力あふれる社会となるよう、皆さまとのコミュニケーションを大切に地域社会の発展に貢献いたします。

お客さま

お客さまの最良のパートナーとして、社会の変化に対応しながら、常にお客さまに安心かつ最適なソリューションを提供いたします。

従業員

役職員一人ひとりが健康で自分らしくいきいきと働き続けられ、多様な活躍ができる会社づくり・組織風土づくりを進めてまいります。

株主・投資家

地域の皆さまとともに発展し、すべてのステークホルダーより高い信頼を寄せられる、魅力ある企業であり続けます。



「SX推進委員会」および「SX推進室」の設置

「プロクレアホールディングス サステナビリティ方針」のもと、環境問題やSDGs、ESGを含むサステナビリティに関する取り組みの推進・強化に向けたガバナンス体制を整備することを目的として、2023年3月、取締役会監督下、当社社長を委員長とする「SX*推進委員会」を設置しました。SX推進委員会ではSX推進に係る方針や戦略、SX推進関連施策の進捗状況、TCFD対応の取組状況などについて審議を行います。また、SX推進委員会設置と同時に、当社SX推進の実行組織として経営企画部内に「SX推進室」を設置しました。

当社はこのような推進体制のもと、今後も地域の持続可能な発展に積極的に貢献し、それらを自らの成長につなげていきます。

※SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)とは

社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを「同期化」させていくこと、及びそのために必要な経営・事業変革(トランスフォーメーション)を指す。社会のサステナビリティと企業のサステナビリティの同期化とは、企業が社会の持続可能性に資する長期的な価値提供を行うことを通じて、社会の持続可能性の向上を図るとともに、自社の長期的かつ持続的に成長原資を生み出す力(稼ぐ力)の向上と更なる価値創出へとつなげていくことを意味する。

<伊藤レポート3.0(SX版伊藤レポート) サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会(SX研究会)報告書、経済産業省、2022年8月30日 より引用>

サステナビリティに関する取り組み



事業承継・M&Aカンファレンス～青森の未来をともに創る～

2022年11～12月、「プロクレアHD設立記念 事業承継・M&Aカンファレンス～青森の未来をともに創る～」を株式会社日本M&Aセンターと共同でWeb開催しました。コロナ後を見据えた事業承継・M&Aに関する講演や21のセッション等を配信し、約13,400先のお客さまにお申込みいただきました。



春のクリーン大作戦への協力

2023年4月、「小さな親切」運動 青森県本部の趣旨に賛同し、地域への感謝と社会貢献活動の一環として青森県内外各地で清掃活動を行いました。職員および家族合わせて全エリア合計で約1,800名が参加しました。



プロクレアHD野球部、除雪ボランティア活動

2023年2月、プロクレアHD野球部と青森市立西中学校の生徒が合同で市内の高齢者宅の除雪ボランティアを行いました。2月に入り断続的に降雪があったため、除雪が追い付かない状況でしたが、総勢約50名の力を合わせて地域のために活動しました。





金融リテラシー向上への取り組み

地域経済の将来を担う子供たちや、地域の方々の金融リテラシー向上の一助となるよう、取り組みを進めています。

- 2022年10月、青森県高等学校PTA連合会東青地区協議会が行う研修の一環として「人生100年時代の資産形成」のテーマのもと、保護者と教師を対象に金融教育講座をオンライン開催しました。
- 楽しみながら金融知力を身につけることができる、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」を青森大会（2022年12月）、全国大会（2023年2月）ともにサポートしました。
- 2023年1月、青森銀行本店にてお金の使い方や銀行業務を学ぶことを目的とした「プロクレアHD キッズスクール冬休み親子見学会」を開催し、10名の小学生の皆さんにご参加いただきました。



オンライン金融教育講座



エコノミクス甲子園 全国大会

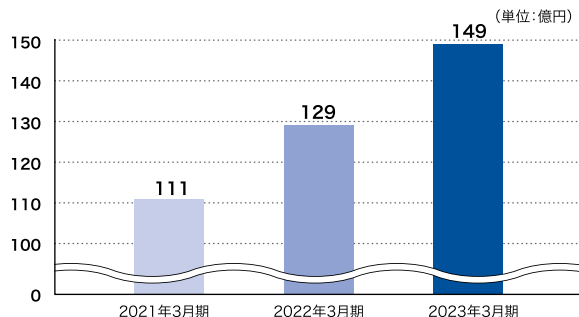


キッズスクール冬休み親子見学会

業績ハイライト(2行合算)

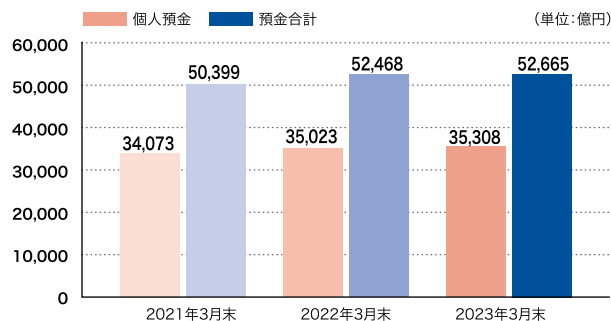
コア業務純益の状況

コア業務純益は、資金利益や役務利益が増加し、経費も減少したことから、前年同期比20億円増益の149億円となりました。



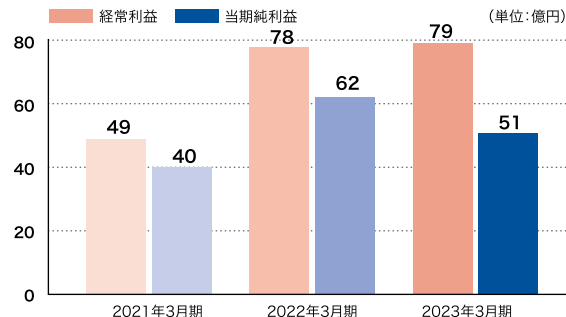
預金(譲渡性預金を含む)の状況

2023年3月末の譲渡性預金を含む総預金は、個人預金を中心に順調に推移し、前年度末比196億円増加の5兆2,665億円となりました。



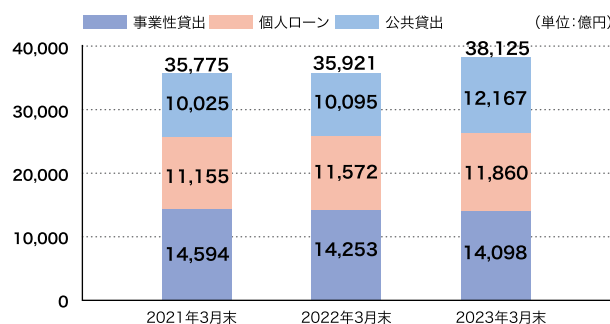
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、与信費用は増加したものの、有価証券関係損益の改善等により、前年同期比1億円増益の79億円となりました。一方、当期純利益については、減損損失の増加等により、前年同期比10億円減益の51億円となりました。



貸出金の状況

2023年3月末の貸出金は、住宅ローンを中心とした個人ローン及び公共貸出の増加により、前年度末比2,204億円増加の3兆8,125億円となりました。

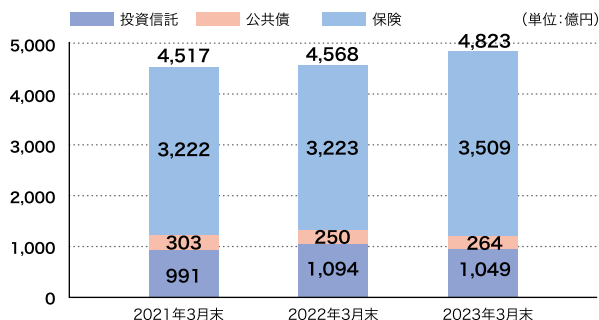


用語解説

■コア業務純益 預金・貸出・為替業務など銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

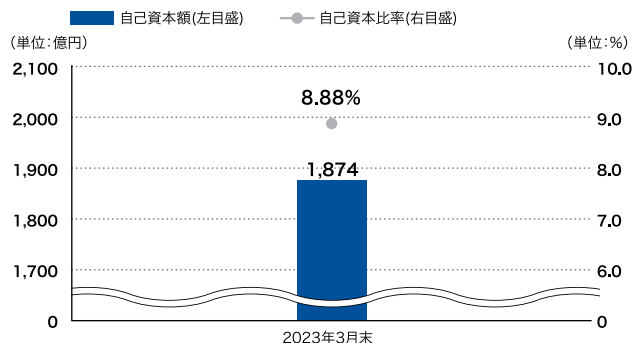
預かり資産の状況

2023年3月末の預かり資産残高は、保険残高が増加したことから、前年度末比254億円増加の4,823億円となりました。



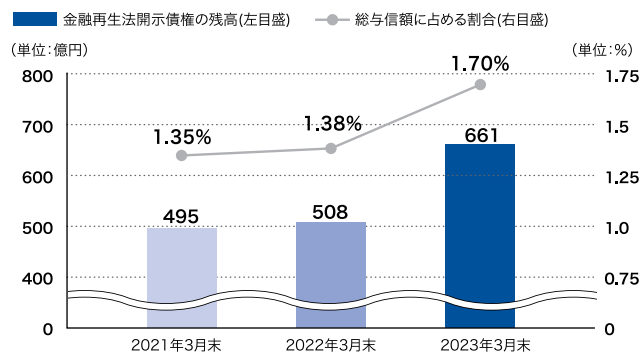
自己資本比率の状況(プロクレアHD連結)

2023年3月末の連結自己資本比率は、8.88%となりました。国内基準である4%を大きく上回る水準を確保しております。



金融再生法開示債権の状況

2023年3月末の金融再生法開示債権は、危険債権の増加等により前年度末比152億円増加の661億円となりました。また、与信総額に占める開示債権の比率は前年度末比0.32%上昇し1.70%となりました。



■経常利益 コア業務純益に有価証券関係損益や与信費用(不良債権処理に関する費用など)を加減した利益です。
■当期純利益 経常純益に特別利益や税金などを加減した最終的な利益です。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

第1期 連結貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	1,123,913	預 金	5,024,375
コールローン及び買入手形	35,000	譲 渡 性 預 金	223,458
買入金銭債権	5,115	コールマネー及び売渡手形	13,438
金銭の信託	11,985	債券貸借取引受入担保金	2,609
有価証券	865,466	借 用 金	463,349
貸 出 金	3,774,454	外 国 為 替	38
外 国 為 替	8,176	そ の 他 負 債	35,728
リース債権及びリース投資資産	33,799	賞 与 引 当 金	1,358
そ の 他 資 産	66,496	役員賞与引当金	25
有 形 固 定 資 産	27,850	退職給付に係る負債	250
無 形 固 定 資 産	4,320	役員退職慰労引当金	4
退職給付に係る資産	5,842	株式給付引当金	346
繰延税金資産	10,568	睡眠預金払戻損失引当金	356
支払承諾見返	22,927	偶発損失引当金	348
貸倒引当金	△ 21,228	再評価に係る繰延税金負債	1,398
投資損失引当金	△ 235	支 払 承 諾	22,927
		負債の部合計	5,790,013
		(純資産の部)	
		資 本 金	20,000
		資 本 剰 余 金	48,263
		利 益 剰 余 金	122,927
		自 己 株 式	△ 651
		株 主 資 本 合 計	190,539
		その他有価証券評価差額金	△ 9,148
		繰延ヘッジ損益	1,039
		土地再評価差額金	2,278
		退職給付に係る調整累計額	△ 269
		その他の包括利益累計額合計	△ 6,099
		純 資 産 の 部 合 計	184,439
資 産 の 部 合 計	5,974,452	負債及び純資産の部合計	5,974,452

第1期 連結損益計算書

(2022年4月1日から
2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	85,437
資金運用収益	44,232
(うち貸出金利息)	(33,699)
(うち有価証券利息配当金)	(9,520)
役員取引等収益	14,157
その他業務収益	3,622
その他経常収益	23,424
経 常 費 用	80,330
資金調達費用	1,048
(うち預金利息)	(133)
役員取引等費用	6,483
その他業務費用	6,816
営業経費	41,656
その他経常費用	24,326
経 常 利 益	5,106
特 別 利 益	47,181
(うち負債のれん発生益)	(47,140)
特 別 損 失	2,134
税金等調整前当期純利益	50,153
法人税、住民税及び事業税	1,310
法人税等調整額	△ 130
法人税等合計	1,180
当 期 純 利 益	48,973
非支配株主に帰属する当期純利益	16
親会社株主に帰属する当期純利益	48,957

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結財務諸表の作成方針

子会社、子法人等の定義は、銀行法第2条第8項及び銀行法施行令第4条の2に基づいています。

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結される子会社及び子法人等 11社

- 株式会社青森銀行 ●株式会社みちのく銀行 ●青銀甲田株式会社 ●あおぎんカードサービス株式会社
- あおぎんリース株式会社 ●あおぎん信用保証株式会社 ●あもり創生パートナーズ株式会社
- みちのくリース株式会社 ●みちのく信用保証株式会社 ●みちのくカード株式会社 ●みちのく債権回収株式会社

(2) 非連結の子会社及び子法人等 2社

- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合 ●プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合

2 持分法の適用に関する事項

持分法非適用の非連結子会社 2社

- みちのく地域活性化投資事業有限責任組合
- プロクレアHD地域共創ファンド投資事業有限責任組合

3 連結される子会社及び子法人等の決算日等に関する事項

連結される子会社及び子法人等の決算日は次のとおりです。
3月末日 11社

株式情報

株式の情報

(2023年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数

- ・普通株式 60,000 千株
- ・第一種優先株式 13,800 千株

発行済株式の総数

- ・普通株式 28,658 千株
- ・第一種優先株式 1,840 千株

株主数

- ・普通株式 40,617 名
- ・第一種優先株式 1 名

大株主

普通株式

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,765	9.66%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,499	5.23%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,445	5.05%
明治安田生命保険相互会社	565	1.97%
日本生命保険相互会社	478	1.67%
青森銀行職員持株会	373	1.30%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	372	1.30%
住友生命保険相互会社	338	1.18%
損害保険ジャパン株式会社	315	1.10%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	300	1.05%

第一種優先株式

株主名	持株数(千株)	持株比率
株式会社整理回収機構	1,840	100.00%

※ 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。

※ 持株比率は、自己株式を控除のうえ算出しています。

株主優待制度

◆ 青森県を中心とした地元の特産品等を掲載したカタログより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

初回

(2023年3月31日を基準日とする株主優待内容)

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	半年以上継続保有 [※]	3,000円相当
1,000株以上		6,000円相当

※ 半年以上継続保有とは、「2023年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で2022年9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

2回目以降

(2024年3月31日以降を基準日とする株主優待内容)

保有株式数	保有期間	優待品の金額
100株以上1,000株未満	1年以上継続保有 [※]	3,000円相当
1,000株以上		6,000円相当

※ 1年以上継続保有とは、「当年3月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同一株主番号で前年の3月末日および9月末日の株主名簿に記載、または記録されていること」といたします。

株式のご案内

(2023年3月31日現在)

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年です。

定時株主総会

毎事業年度終了の翌日から3ヵ月以内に開催します。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日とします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告します。

配当金

期末配当金は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、株主総会終了後お支払いします。

中間配当金は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、お支払いします。

単元株式数

当社の単元株式数は100株です。

公告方法

電子公告とします。なお、電子公告は当社ホームページ(<https://www.procrea-hd.co.jp/>)に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

●郵便物送付先および電話照会先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料を申し受けます。



「弘前地区名物 アップルパイ」

表紙は“地域の祭り”をテーマに
紹介していきます。

▶ プロクレアホールディングス

発行／株式会社プロクレアホールディングス 経営企画部
〒030-8668 青森市橋本一丁目9番30号(本社) TEL 017-777-5111
URL <https://www.procrea-hd.co.jp> メールアドレス kouhou@procrea-hd.co.jp

(この小冊子は、商品勧誘を目的とするものではありません。)

※森林認証を受けた「環境にやさしい」用紙を使用しています。